

公益社団法人 葵橋ファミリー・クリニック
平成24年度 事業報告書

第1 はじめに

葵橋ファミリー・クリニックは、個人の精神的健康を援助する総合的援助機関である。平成24年4月1日、従来の社団法人より「公益社団法人」へ移行認定を受け、新法人としてスタートした。

個人の精神的健康を維持することは、健康な社会を維持することである。その観点から精神的問題を抱える個人に焦点を当てるのではなく、個人と個人を取り巻く家族・社会環境も視野に入れた拡大した観点でカウンセリングを捉え、当法人の取り組みを社会に還元することが、個人と社会がともに健康であり続ける事に繋がると考えている。この基本方針に基づき、公益目的事業と収益目的事業が行われた。

以下、本年度の事業内容を報告する。(末頁に相談事業来談者統計記載)

第2 公益目的事業

I. 公益事業 相談事業

《社会的問題に対応する心の問題、精神的な健康をカウンセリングにより援助する事業》

現在の社会の中で、特に問題になってきている(1)精神的症状、(2)教育問題、(3)虐待、(4)DV(ドメスティック・バイオレンス)、(5)ハラスメント、(6)犯罪被害者支援及び加害者更生支援の問題に対して、カウンセリングを中心においた当法人の援助システム(個人のカウンセリングを行うとともに、他の援助機関と連携し、有機的な対人援助を行い、さらにそこから得た知見を社会に還元していく)で援助していく事業である。

今年度は(1)の精神的症状がもっとも多く、その中でも鬱(躁鬱)、鬱状態(躁状態)、不安状態が約半数を占めている。これは、複雑化する社会の中で、人々の精神的健康が阻害されている現代社会の問題を反映していると考えられる。

また(2)の教育問題では不登校、あるいはこどもの問題を抱える保護者が大半を占め、これらの中には「いじめ」が背景にあるケースがかなり含まれている。(3)虐待、(5)ハラスメント、(6)犯罪被害者支援及び加害者更生支援は当法人の特色であり、他機関との連携が密に行われている。

この事業の全体の来談者数と面接回数は以下の通りである。

	(1) 精神的症状	(2) 教育問題	(3) 虐待	(4) DV	(5) ハラスメント	(6) 犯罪被害者支援 再犯予防・更生支援	合計
来談者数	138	42	9	5	24	26	244
(内 男性)	(56)	(12)	(3)	(2)	(8)	(9)	(90)
(内 女性)	(82)	(30)	(6)	(3)	(16)	(17)	(154)
面接回数	1335	274	55	12	83	108	1867

(1) 精神的症状（鬱等の精神疾患，自殺予防を含む）

複雑化する社会状況，家族の在り方の変化，ストレスの増大を背景にして増加している，精神的症状を呈する人に対して実施しているカウンセリング。またこの事業は精神症状が重篤化して自殺に至ることを予防する「自殺予防」の一助を担っている。

【相談内容内訳】

精神疾患	来談者数	面接回数
統合失調症	9	64
鬱，躁鬱	16	195
鬱状態，躁状態	25	238
パーソナリティ障害	11	118
不安状態	25	230
恐怖症	3	44
強迫性障害	3	25
離人症状	0	0
解離性(転換性)障害	3	73
摂食障害	0	0
心身症	0	0
発達障害	16	181
PTSD	2	11
性・心理機能の問題(同性愛・性同一性障害含む)	1	16
嗜癖(薬物，アルコール，ギャンブル，性的等)	5	31
精神障害者家族への援助	19	109
合 計	138	1335

(2) 教育問題

教育現場で起こる，「いじめ」「不登校」等の教育問題に対して，また子どもが呈する問題に対して実施しているカウンセリング。

【相談内容内訳】

教育(子どもの問題)	来談者数	面接回数
不登校	11	115
いじめ	0	0
発達上の問題(発達遅滞，発達障碍，学習困難)	8	56
神経症的習癖(情緒問題)	1	2
非行	1	1
家庭内暴力	3	8
摂食障害	0	0
無気力(アパシー)	1	10
引きこもり	0	0
学校での問題(教師，友人関係等)	0	0
子どもの問題を抱える保護者	17	82
合 計	42	274

(3) 虐待

虐待を行ってしまった保護者へ、再発予防・家族再統合という目的で実施しているカウンセリング。また、被虐待児へのカウンセリング及びプレイセラピー。

【相談内容内訳】

虐待(家族再生支援)	来談者数	面接回数
虐待親への支援・再発予防	5	16
虐待防止(子育て中の親への支援)	2	16
被虐待児への支援	2	23
合計	9	55

(4) DV (ドメスティック・バイオレンス)

家庭内で行われる配偶者からの暴力、恋人間で行われる暴力について、被害者支援として実施しているカウンセリング、生活再建へ向けた関係調整。加害者に対して実施している再教育カウンセリング。

【相談内容内訳】

DV	来談者数	面接回数
DV 被害者	3	4
DV 加害者	1	7
DV 関係者	1	1
合計	5	12

(5) ハラスメント

社会関係の中で行われるハラスメント問題について、被害者に対して実施しているカウンセリング。ハラスメント問題の解決に向けて関係機関との調整を含む実際の援助。また加害者に対して実施している再教育カウンセリング。

【相談内容内訳】

ハラスメント	来談者数	面接回数
ハラスメント被害者	20	78
ハラスメント加害者	0	0
ハラスメント関係者	4	5
合計	24	83

(6) 犯罪被害者・加害者更生支援

犯罪被害者に対して実施しているカウンセリング。さらに刑期を終えた犯罪加害者の再発防止のためのカウンセリング。

【相談内容内訳】

犯罪	来談者数	面接回数
犯罪被害者・被害者家族	20	59
犯罪加害者の再発予防	4	48
加害者家族への支援	2	1
合計	26	108

II. 公益事業 研修事業

《対人援助活動のための研修，人材育成及び講師派遣等事業》

平成 24 年度の研修事業として次の講座を実施した。対人援助基礎講座，専門講座，教育講座において，それぞれ充実した内容で実際の臨床現場あるいは対人関係において役に立つ研修であった。特に対人援助の専門講座はどの講座も専門性を高めるように継続して行われているものである。

スーパーヴィジョン，個人コンサルテーション，教育分析では，大学院臨床心理士養成課程の院生，有資格者の専門家等の個人スーパーヴィジョン，教育分析が行われた。臨床心理士養成課程在籍の院生はもちろん，資格取得後も有意義なスーパーヴィジョンの場を提供している。

(1) AFC 教育・研修講座

a. 対人援助の基礎講座

① カウンセリング実践基礎講座（全 4 回）

《カウンセリングの理論，面接技法，カウンセリングの実践，援助職のメンタルヘルス》

日程：10/14，10/21，11/18，12/9（日曜日 PM1：00～5：00）

講師：橋本朋広，中島優紀，山本陽子，古野裕子，谷口秀樹（AFC 臨床心理士）

中村珠美（臨床心理士）

受講者数：11 名

会場：聖公会京都教区センター

b. 対人援助の専門講座

① ロールシャッハ・テスト 入門編（全 10 回）

日程：随時予約制

講師：中尾文彦（独立行政法人やまと精神医療センター 臨床心理士）

受講者数：9 名

会場：葵橋ファミリー・クリニック 面接室

② ロールシャッハ・テスト 応用編（全 6 回）

日程：11/25，1/27，3/3（日曜日 PM1：00～3：00 3：30～5：30）

講師：山本 昌輝（立命館大学文学部教授／臨床心理士）

受講者数：12 名

会場：聖公会京都教区センター

③ バウム・テスト事例研究（全 6 回）

日程：10/25，11/22，12/20，1/24，2/28，3/28（木曜日 PM6：45～8：45）

講師：青木 健次（京都大学カウンセリングセンター教授）

受講者数：17 名

会場：ハートピア京都

④ グループ・スーパーヴィジョン（全 9 回）

日程：6/23，7/14，9/8，10/20，11/10，12/8，1/12，2/9，3/9（土曜日 PM6：00～8：00）

講師：橋本 朋広，山本 陽子（AFC 臨床心理士）

受講者数：15 名

会場：聖公会京都教区センター

c. スーパーヴィジョン，個人コンサルテーション，教育分析

日程：随時予約制

講師：AFC カウンセラー

【内容内訳】

	スーパーヴィジョン	教育分析	合計
来談者数	51	3	54
(内 男性)	(7)	0	(7)
(内 女性)	(44)	(3)	(47)
面接回数	490	55	545

年齢別来談者

	19～29	30～39	40～49	50～59	60～69	合計
男性	5	2	0	0	0	7
女性	25	12	3	5	2	47
合計	30	14	3	5	2	54

地域別来談者

京都市内	24
京都府内	10
大阪府	6
滋賀県	10
その他近畿	4
その他	0
合計	54

d. 教育講座 講演会・シンポジウム

≪講演会≫ 「自閉症の精神病様症状について」

日程：3/20（水曜日祝日 PM2：00～5：00）

講師：石坂 好樹（京都桂病院精神科部長／医師）

受講者：24名 会場：ハートピア京都

(2) 講師派遣 —各種職場，組織，グループに講師を依頼に応じて随時派遣する。

a. 講師派遣

- | | | |
|---------------------------|-------------------|------|
| ①京都市立芸術大学「キャンパスハラスメント講演会」 | 4/ 10 | 山本陽子 |
| ②子ども支援センター「事例検討会」 | 8/ 8 | 山本陽子 |
| ③京都保護観察所「面接技法の基礎」 | 12/ 4 | 古野裕子 |
| ④京都市「ハラスメント研修会」 | 12/6, 12/7, 12/26 | 山本陽子 |

b. 里親登録者研修会(京都市児童相談所)

里親登録申請者のための研修会を，設定されたカリキュラムに基づいて行っている。養育里親認定においては，基礎研修（1日），認定前研修（2日）の出席が義務づけられており，養育里親登録者全員が参加できる機会を設けるため，各研修会を年2回開催している。また，里親登録者全員（養育・専門・親族・週末里親）を対象に半日の全体研修を開催した。

①基礎研修 養育里親を希望するものを対象，制度説明，要保護児童の理解について

日程：6月19日（火） 10：30～16：00 会場：京都市児童相談所

1月28日（月） 10：30～16：00 会場：京都市児童相談所

内容：＜里親養育論＞ 里親制度の基礎Ⅰ
＜養護原理＞ 保護を要する子どもの理解について
＜児童福祉論＞ 地域における子育て支援サービスについて
＜里親養育演習＞ 先輩里親の体験談，グループ討議

②認定前研修 1日目

日程：7月9日（月） 10：00～15：00 会場：京都市児童相談所

2月12日（火） 10：00～15：00 会場：京都市児童相談所

内容：＜里親養育論＞ 里親養育の基本
＜里親養育論＞ 里親制度の基礎Ⅱ
＜里親養育援助技術＞ 関係機関との連携
＜発達心理学＞ 子どもの心
＜小児保健＞ 子どもの身体

③認定前研修 2日目

日程：7月17日（火） 10：00～15：30 会場：京都市児童相談所

2月19日（火） 10：00～15：30 会場：京都市児童相談所

内容：＜里親養育援助技術＞ 里親養育上の様々な課題
＜里親養育援助技術＞ 子どもの権利擁護
＜里親養育演習＞ 里親会活動
＜里親養育演習＞ 先輩里親の体験談，グループ討議

④全体研修 養育・専門・親族・週末里親全員を対象

日程：11月17日（土） 10：30～12：30 会場：京都市教育相談総合センター

内容：「子どもたちの現状と関わりについて ～『いじめ』から見えてくるもの～」

c. 相談員のスーパーヴィジョン，コンサルテーション

各区の子ども支援センター相談員・地域活動員，育児支援活動員を対象に，相談事例についてスーパーヴィジョンを行なった。

日程：随時（予約制）

講師：AFCカウンセラー

受講者数：9名

面接回数：個人面接 5回 複数面接 3回

第3 収益目的事業

I. 収益事業 相談事業

＜個人・家族の問題に対応する精神的健康をカウンセリングにより援助する事業＞

他機関との連携が必要なく，個人・家族の問題としてカウンセリングが実施された。

この事業では夫婦・親子関係等の人間関係にまつわる相談内容が約半数を占めている。

この事業の全体の来談者数と面接回数は以下の通りである。

来談者数(人)	46
(内 男性)	18
(内 女性)	28
面接回数(回)	272

【相談内容内訳】

主 訴	来談者数	面接回数
不安状態	3	4
恐怖症	1	19
精神障害者家族への援助	1	1
子どもの問題を抱える保護者	3	24
PTSD	1	2
職場における問題	3	14
青年期の問題(進路・適性など)	3	38
中年期の問題	1	1
老年期の問題	1	3
親子関係の問題	9	30
夫婦関係の問題	15	80
自己覚知	3	51
心理テスト	1	2
その他	1	3
合 計	46	272

第4 広報

- (1) ホームページ制作, 更新
- (2) AFCパンフレット作成, 各種案内等
- (3) AFCニュース 公益法人第1号発行

第5 学会の参加及び研究発表

- (1) 日本箱庭療法学会第26回大会(2012年10月27日~10月28日)
研究発表: 古野裕子
- (2) 日本心理臨床学会第31回大会(2012年9月14~9月16日)

第6 AFC体制

- (1) 開所時間: 月・火・木・土曜日 10:00~17:00 水・金曜日 14:00~20:00
- (2) 常勤職員: 山本陽子(首席カウンセラー), 古野裕子(カウンセラー), 関秀子(事務局長)
非常勤職員: 井上美知子, 橋本朋広, 中島優紀, 谷口秀樹, 川角美樹, 岩井秀世, 酒井律子,
渡辺登至明, 梶川和行
- (3) ケースカンファレンス 1回/月
4月7日(大山泰宏講師), 5月12日, 6月2日(石坂好樹講師), 7月7日, 8月4日
(大山泰宏講師), 9月1日, 10月6日(江口法子講師), 11月17日(金山由美講師),
12月15日(大山泰宏講師), 2月2日(濱野清志講師)

第7 法人会員

今年度末の会員登録者数は正会員 73名, 賛助会員 25名であった。毎年, 退会希望者が若干名あり, また会費未納者もある。

今年度は, 公益社団法人一年目であり, 法人の活動にご理解していただいた数多くの方から寄付が寄せられた。今後, 引き続き活動にご理解いただき, 寄付や会員の拡大への一層の努力が望まれる。

第8 おわりに

公益社団法人に認定され, 一年目の事業は順調に行われた。個人の精神的健康を援助する統合的援助機関として, 社会の要請に応えられる活動を今後も継続して行えるよう, 開所時間を拡大し, スタッフも増員していく予定である。また, 公益社団法人としての力量を高めるため, スタッフ一同さらなら研鑽を積んでいく所存である。

平成24年度 相談事業 来談者統計

